

# 室内空気中の化学物質濃度実態調査 国交省



国土交通省は建材に含まれる化学物質が原因となるシックハウス症候群の対策強化を狙い 2002 年度に行った「室内空気中の化学物質濃度の実態調査」の結果をまとめました。

新築 1 年以内の住宅を対象とした「新規調査」(夏期・冬期)では、同症候群の代表的な物質であるホルムアルデヒド、アセトアルデヒドの全国 502 戸の調査では、ホルムアルデヒドが 0.2%(1 戸)、アセトアルデヒドが 16.3%(82 戸)が濃度指針値を超過していました。また他の 4 物質の調査では、キシレンとエチルベンゼンでは 0%、トルエンが 1.7%、スチレンが 0.8%でした。

また、2000 年度に指針を超過していた住宅(286 戸)の追跡調査では、ホルムアルデヒドの指針超過率は 2001 年度夏期 31.1%(89 戸)、同冬期 0.3%(1 戸)、2002 年度夏期 12.9%(37 戸)、同冬期 1.0%(3 戸)となっています。トルエン(対象 127 戸)では、2001 年度夏期 5.5%(7 戸)、同冬期 1.6%(2 戸)、2002 年度夏期 0.8%(1 戸)、同冬期 1.6(2 戸)でした。

この調査は、揮発性が非常に高い一連の物質の実態を正確に把握するため、気温条件が異なる毎年の夏と冬の 2 回ずつ実施しており今回で 5 回目となりました。このところの規制強化などを受けて、新築物件の超過割合は前年同期に比べて低下傾向にありました。

資料: 2003年 12月 25 日付 日本工業新聞、日本工業日報

機器分析箇所 金子 圭介

事業内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析  | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明   | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定     |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理       |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査  | 8 委託試験・研究・開発          |

